



テレビの視聴率はどうやって調べるの

何の番組を見ているか、電話線で記録を集める

テレビの視聴率とラジオの聴取率とをあわせて、「視聴率」といいますが、今ではラジオの聴取率の調査は、ほとんどなされていません。視聴率は、テレビを持っている家庭を分母（100%）とし、目的の番組を見ている家庭を分子として表します。その結果が視聴率1%であれば、約14万5000世帯が視聴しているといわれています。

調べ方は、テレビを見ている家庭に、今、何の番組を見ているか、どの番組に切りかえたかが、1分きざみでわかるオンライン・メーターという機械をおいてもらい、その記録を電話線を通して番組ごとに集めるのです。こうして、全日・全番組のデータが収集されるようになっていきます。

日本で視聴率の調査を専門にしている会社としては、ビデオリサーチ社、ニールセン日本支社があります。

番組の良し悪しより、視聴率の高さで判断

今では、高い視聴率が広告収入に直接影きょうしてくるため、どのテレビ局も、視聴率のアップを最大目標において、番組を製作するようになりました。番組の内容よりは、どれだけ視聴率がかせげるかによって、番組をやめるか、つづけるかが決められています。なおNHKも年に数回、個人単位の視聴率を調査しています。（監修・保岡 孝之）

